



## 日野市の 財政

### 令和8年度 予算のポイント

市は、令和6年度の決算などを踏まえた総合的な判断の結果、令和2年2月に発出した財政非常事態宣言を、令和7年8月をもって解除しました。

この非常事態宣言の解除に伴い、抑制していた都市基盤整備の再起動や、子育て・教育環境を含む施設の維持管理の充実などを行う必要があることから、令和8年度当初予算においては、古賀市長の優先施策「3本の柱」(市民の生活を物価高から守る、健康で幸福度の高いまちに、豊かで心安らぐ生活を)の実現と、そのための5つの取り組み(市民生活を物価高から守る経済支援策、市民がより健やかに暮らすためのサービス展開、安心感ある豊かな生活環境づくり、将来を担う子どもたちを育む環境整備、持続可能で信頼される行政基盤)に重点的に予算を配分することを基本として予算編成を行いました。

# 令和8年度 予算を公表

一般会計 ID 1030505

特別会計 ID 1030506 財政局(☎042-514-8076)



▲一般会計



▲特別会計

令和8年度の当初予算が第1回市議会定例会で可決されました。  
予算総額は令和7年度と比較し、5.9%増の1,475億2,997万円となり、このうち一般会計の予算額は、7.3%増の837億7,500万円となりました。

↑は増額 ↓は減額

#### 総額

会計名	予算額(対前年度比)
一般会計	837億7,500万円(7.3%↑)
特別会計・事業会計	637億5,497万円(4.2%↑)
合計*	1,475億2,997万円(5.9%↑)

#### 特別会計・事業会計

会計名	予算額(対前年度比)
国民健康保険特別会計	169億753万円(2.8%↓)
土地区画整理事業特別会計	38億1,613万円(22.7%↑)
介護保険特別会計	184億2,468万円(6.7%↑)
後期高齢者医療特別会計	62億8,795万円(8.7%↑)
市立病院事業会計	117億8,891万円(1.8%↑)
下水道事業会計	65億2,977万円(8.0%↑)
合計*	637億5,497万円(4.2%↑)

\*金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

### 特別会計・事業会計の概要

前年度当初予算に比べ4.2%(25億6,933万円)増加となりました。

#### 主な増減理由

- 土地区画整理事業特別会計は、区画整理事業の進捗を図るため、22.7%(7億665万円)の増加。
- 介護保険特別会計は、高齢化の進展や介護サービス需要の増などにより6.7%(11億5,361万円)の増加。
- 下水道事業会計は、東京都が実施する都道の工事に伴う下水道施設の修繕費の増や、流域下水道の維持負担金の増などにより8.0%(4億8,496万円)の増加。
- 国民健康保険特別会計は、被保険者数の減などに伴い、2.8%(4億8,086万円)の減少。
- 後期高齢者医療特別会計は、高齢化の進展などによる被保険者数の増などにより8.7%(5億183万円)の増加。

# 歳入

837億7,500万円  
(7.3%↑)

その他  
(地方譲与税・分担金・負担金など)  
32億2,858万円  
(3.9%) (16.7%↑)

使用料及び手数料  
13億1,164万円  
(1.6%) (2.6%↓)

諸収入  
13億3,719万円  
(1.6%) (18.0%↓)

市税  
337億9,235万円  
(40.3%) (4.8%↑)

地方交付税  
22億8,700万円  
(2.7%) (2.6%↑)

国庫支出金  
157億9,029万円  
(18.8%) (7.6%↑)

市債  
25億3,440万円  
(3.0%) (28.0%↑)

都支出金  
146億4,092万円  
(17.5%) (14.2%↑)

地方消費税交付金  
47億円  
(5.6%) (14.6%↑)

繰入金  
41億5,263万円  
(5.0%) (2.9%↓)

## 一般会計予算

### 歳入・歳出比較



↑は増額  
↓は減額

〈 〉内およびグラフの円周は割合  
( )内およびグラフの高さは対前年度比

# 歳出

837億7,500万円  
(7.3%↑)

民生費  
432億4,218万円  
(51.6%) (6.1%↑)

教育費  
119億5,192万円  
(14.3%) (11.7%↑)

総務費  
80億6,024万円  
(9.6%) (8.6%↑)

その他  
(商工費、議会費など)  
13億2,546万円  
(1.6%) (20.6%↓)

消防費  
28億1,129万円  
(3.3%) (21.5%↑)

公債費  
31億5,932万円  
(3.8%) (2.6%↓)

土木費  
62億2,032万円  
(7.4%) (13.3%↑)

衛生費  
70億427万円  
(8.4%) (7.9%↑)

## 一般会計予算を1カ月の家計簿でイメージ

市の予算額は規模が大きく、そのままでは実感が湧きにくいので、市の財政状況をより分かりやすくイメージできるように、一般会計予算額を年収480万円の家計とみなし、1カ月当たりの家計簿として表しました。

### 収入(円)

#### 予算上の項目<歳入>

#### 家計でいうところの項目

市税(337億9,235万円)	月収(給料・給与など)	161,348円
分担金及び負担金、使用料及び手数料(13億2,526万円)	パート収入・副収入	6,328円
地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税など(95億6,800万円)	親・親戚からの仕送り	45,684円
国庫支出金、都支出金(304億3,121万円)	使い道が限定されている親からの援助金	145,300円
繰入金(41億5,263万円)	預貯金からの取り崩し	19,828円
市債(25億3,440万円)	借金・ローン	12,101円
財産収入、寄附金、諸収入(15億7,115万円)	雑収入	7,502円
繰越金(4億円)	前月からの繰り越し	1,910円
歳入合計(837億7,500万円)	収入の合計	400,000円



### 支出(円)

#### 家計でいうところの項目

#### 予算上の項目<歳出(性質別)>

食費・医療費・通勤費など	65,905円	人件費(138億306万円)	職員給与や市長、市議会議員の報酬など(会計年度任用職員含む)
教育費・介護費など	130,155円	扶助費(272億5,934万円)	社会保障に要する費用
住宅ローン返済など	15,085円	公債費(31億5,932万円)	借金の返済と利息の支払い
光熱水費・通信費など	71,942円	物件費(150億6,742万円)	委託料や備品購入費、消耗品費など
家や車の購入・補修費など	23,363円	普通建設事業費、維持補修費(48億9,319万円)	道路、公共施設整備のための経費など
地域活動への寄付など	46,830円	補助費等(98億795万円)	各種団体への補助金など
子どもへの仕送り	44,818円	繰出金(93億8,654万円)	特別会計に渡すお金
貯金への積み立て	1,615円	積立金(3億3,818万円)	基金への積み立て
予備費	286円	予備費(6,000万円)	
支出の合計	400,000円	歳出総額(837億7,500万円)	

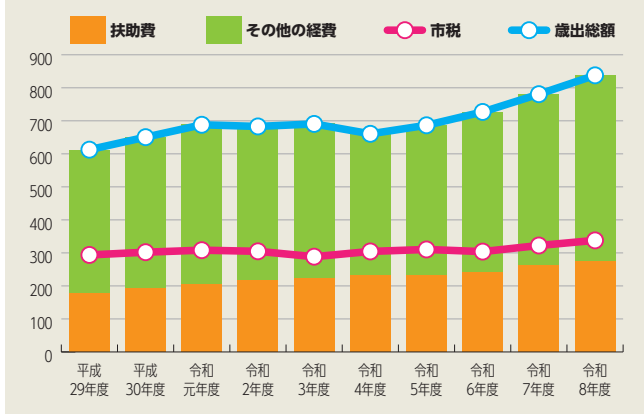
### 一般会計を市民一人当たり換算すると

民生費 22万8,333円 (+1万2,474円) 高齢者や障害者などに対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用	教育費 6万3,110円 (+6,452円) 小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動、スポーツ活動などの費用	総務費 4万2,561円 (+3,255円) 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用	衛生費 3万6,985円 (+2,607円) ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用	土木費 3万2,845円 (+3,777円) 道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用	公債費 1万6,682円 (▲508円) 市債(市の借り入れたお金)の返済のための費用	消防費 1万4,845円 (+2,586円) 消防活動、災害対策などの費用	その他 6,999円 (▲1,843円) 市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用	貯金 (基金残高) 7万335円 (+6,109円)	借金 (市債残高) 14万6,823円 (▲8,386円)
--	---	---	--	--	--	--	--	-------------------------------------	--

※歳出額は一般会計のもの。( )内金額は前年度比 ※市民1人当たりの金額は、令和8年4月1日現在の人口189,382人で算出

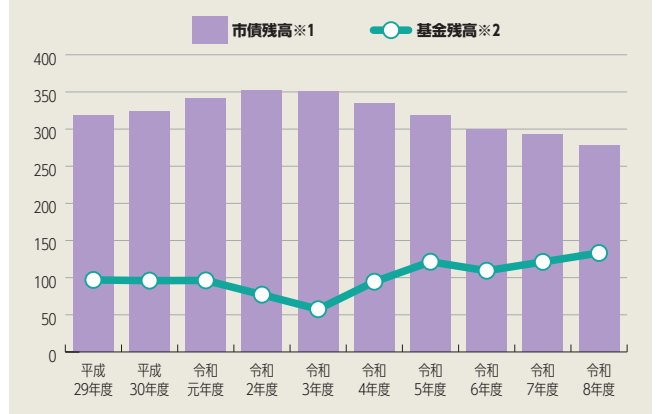
■当初予算の推移(一般会計)

単位:億円



■基金残高(貯金)、市債残高(借金)の推移(一般会計)

単位:億円



- ・歳入予算の根幹となる市税のうち、個人市民税は賃金水準の上昇などによる納税義務者数の増加、法人市民税は市内企業の業績回復、固定資産税は新築住宅分の増加を見込んでおり、市税全体としては前年度と比較し約15.5億円の増加をとる見通しであり、市税総額としても過去最大となります。
- ・歳出予算は、物価高騰や賃金水準の上昇の影響により、委託料や工事費など多くの費目が増加傾向にあることや、保育・障害者福祉関連の経費の増などに伴う扶助費の増、まんがんじ児童館改築工事や豊田小学校校舎大規模改修工事など、普通建設事業の実施により全体で増加しています。
- ・税や国・東京都の補助金などで賄いきれない「財源不足」を賄うための市の貯金である財政調整基金の取り崩し後の残高は約32.5億円であり、令和7年度当初予算編成後と比較すると約9.3億円の増加となる見込みです。
- ・令和8年度は物価高騰や賃金水準の上昇、施設の維持管理費の充実などにより歳出額の増を見込む一方、市税収入や国からの交付金など、一般財源としての歳入が増加しており、令和7年度中の基金残高が増加したことも併せ、前年同時期と比較し残高を増やすことができましたが、依然として取り崩し額は高い水準となっています。
- ・今後も、持続可能な財政運営を行っていくため、基金の取り崩しや市債の借り入れに過度に依存しない、バランスの良い財政運営に努めていく必要があります。

令和7年度下半期財政状況 (令和8年3月31日現在)

■各会計別予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	859億7,308万円	792億595万円	747億5,590万円
特別会計			
国民健康保険	175億3,576万円	152億5,058万円	154億3,155万円
土地区画整理事業	29億2,877万円	23億6,510万円	5億4,774万円
介護保険	173億3,388万円	154億1,217万円	153億9,445万円
後期高齢者医療	59億8,565万円	58億2,829万円	59億2,814万円
市立病院事業(収入)	97億7,013万円	65億7,698万円	-
市立病院事業(支出)	105億6,024万円	-	83億4,199万円
下水道事業(収入)	38億6,022万円	30億659万円	-
下水道事業(支出)	38億6,062万円	-	13億8,101万円

※市立病院事業会計および下水道事業会計は「資本金収入および支出」は除く  
 ※一般会計の予算現額には繰越明許費を含む  
 ※土地区画整理事業の予算現額には繰越明許費を含む

■市債の状況

※令和7年度末残高は見込み額を含む

(単位:億円)

会計名	令和6年度末残高	令和7年度借入金	令和7年度元金償還額	令和7年度末残高
一般会計	294.5	16.9	30.8	280.6
病院事業会計	42.4	1.9	6.8	37.5
下水道事業会計	115.9	6.8	10.3	112.5
土地区画整理事業特別会計	1.3	0	1.2	0.1
合計	454.1	25.7	49.1	430.7

※金額は各欄ごとに1,000万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

■基金・市有財産※

土地	174万㎡
建物	36万㎡
公共施設等整備基金	53億310万円
職員退職手当基金	23億3,589万円
財政調整基金	68億5,483万円
環境緑化基金	1億9,848万円
平和事業基金	9,409万円
バリアフリー事業推進基金	6,617万円
土地区画整理事業基金	12億1,071万円
介護給付費準備基金	10億4,107万円
減債基金	5億1,691万円
新選組関連資料収集基金	2,144万円
ごみ処理関連施設及び周辺環境整備基金	15億6,186万円
福祉あんしん基金	1億5,903万円
病院整備基金	6,752万円
都市計画事業基金	3,420万円
気候変動対策事業基金	1,285万円
合計	194億7,815万円

※貸付基金を除く